

## 令和元年 ～感謝と共に“今”を生きる～

校長 狩野博臣

令和元年5月1日。新しい時代の扉が開きました。昭和天皇の崩御による改元となった平成とは違い、日本中が祝賀ムードに包まれての幕開けです。皆様はどのように新しい時代をお迎えになったのでしょうか。今年のカレンダーは昭和の日、平成最後の日、令和最初の日と奇しくも連続しました。昭和生まれの私にとっては過去、現在、未来と3つの時代に思いを馳せ、感慨深いものがありました。そして、ふとこのメロディが頭に流れました。

### **そんな時代もあったねと いつか話せる日があるわ あんな時代もあったねと きっと笑って話せるわ**

中島みゆきさんの「時代」です。私は平成元年に社会人となりましたので、平成の30年はまさに私の教員人生の歩みと重なります。当時はインターネットも携帯も普及しておらず、ワープロを使ってせっせとプリント作成に励み、成績は計算機を弾いていました。年配の先生方からは「自分たちの若いころは、プリント類は全部手書きだったのに、今は楽でよかね。」と言われていたのを思い出します。今では計算は全てコンピュータ、通知表も手書きではなくキーボードを叩いています。あれから30年。誰もが小型のコンピュータを携帯し、いつでもどこでも世界とつながり、情報を得るばかりではなく、発信もできる時代になりました。一口で30年と言っても、良きにつけ悪きにつけ、時代は大きく変わるものです。

フランスの詩人ポール・ヴァレリーは、人生をボートに例えて次のように言っています。

### **湖に浮かべたボートを漕ぐように人は後ろ向きで未来へ入っていく。目に映るのは過去の風景ばかり、明日の景色は誰も知らない。**

平成は過去となりました。令和という新時代に社会はどう変化し、自分の人生がどうなるのか誰にも分かりません。分かっていることは、私たちが生きているのは過去でも未来でもなく、“今”だということ。英語で“今”を“present”と言います。つまり、“今”という時間は私たちに与えられた“プレゼント”なのです。

### **象徴としての私を受け入れ、支えてくれた国民に、心から感謝します。**

これは前陛下が在位中最後となるお言葉の中の一節です。人は幸せだから笑うのではなく、笑うから幸せになると言います。同じように人は幸せだから感謝するのではなく、感謝が人を幸せにするのではないのでしょうか。新しい時代も皆様にとりまして、笑顔と感謝で溢れる日々が末永く続きますことをお祈り申し上げます。

**だから今日はくよくよしないで 今日の風に吹かれましょう めぐるめぐるよ時代はめぐる 別れと出会いをくり返し 今日は倒れた旅人たちも 生まれ変わって歩き出すよ**